

【ホームページ専用チラシ】

福祉教育 研修会2021〔オンライン〕

令和4年
配信期間 1月31日(月)まで

10月1日(金)～

視聴方法

大野城社協  YouTube
(教員限定配信)

大野城市と大野城市社会福祉協議会は、地域に暮らす全ての人々が安心して幸せに暮らしていける地域共生社会の実現に向けて、福祉教育の意義や理念を学ぶことを目的とした研修会を開催しています。今回は、学校教員向けにオンラインによる限定配信で開催します。

プログラム1：基調講演

『学校と地域をつなごう』

～子どもたちを取り巻く課題共有と
学校・家庭・地域の協働による福祉教育～

講師 新崎 国広 氏



教育学部教育協働学科教育心理学講座

大学院教育学研究科教育ファシリテーションコース 特任教授

◆プロフィール◆

肢体不自由児施設職員を経て、南海福祉専門学校専任講師、中部学院大学人間福祉学部助教授、2003年から大阪教育大学准教授、2017年4月から大阪教育大学教育学部教育協働学科教授。福祉現場の経験を生かし、ボランティア、青少年活動、地域福祉活動等の普及・推進に熱意を傾ける。

(主な著書)『福祉教育のすすめ』 『ボランティアのすすめ』 (ミネルヴァ書房) 『社会福祉施設ボランティアコーディネーションのめざすもの』 (久美社版) 『福祉教育学』 (明石書店) ほか

プログラム2：シンポジウム

『オンラインを活用した 福祉教育実践』

事例① コロナ禍の新たな福祉教育(ミニ体験・オンライン交流)
事例② 大野城市内におけるオンライン交流の実践



【写真上】シンポジウムでは学校と地域のつながりについてもそれぞれの視点から意見交換をおこなった。



【写真左】視覚障がいの子のミニ体験後、気づきや感想を発表する生徒たち(大野南小4年)【写真右】学校と高齢者施設のオンライン交流「東京で暮らす孫を思い出した」と嬉しそうに語る入所者(大野東小4年)

福祉教育推進校に指定されている大野南小4年生の取り組みをはじめ、大野城市内で実践したオンライン交流をVTRで紹介します。また、担任の先生方のアンケートによる感想も交えながら、ボランティア学習のポイントやPTCA活動など、わかりやすく解説します。

紹介事例

- ① コロナ禍の新たな福祉教育(大野南小4年)
- ② 高齢者施設編 (大野東小4年×ラ・ナシカ乙金)
- ③ 公民館編 (月の浦小3年×月の浦区福祉推進委員会)
- ④ ボランティアセンター編 (大野小4年×おおのしょうぼうボランティアセンター)

◆ 申込・お問い合わせ

(1) 大野城市社会福祉協議会YouTubeチャンネルから学校教員向け限定配信になります。資料はホームページからダウンロードしてください。

◆ 大野城市社会福祉協議会 地域課(担当：永田) ☎092(572)7700 ✉shakyo@onojo-vc.jp
検索 おおのしょう 社協



この事業には赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。